

SHIFT CONTROL SWITCH

取り扱い説明書

このたびは *SHIFT CONTROL SWITCH* (以下、本製品とする) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、トヨタ プリウス (ZVW30) のシフトレバーをスイッチに変更し、ワンタッチでギヤチェンジを行うことの出来る商品です。

本製品を正しくご使用いただくために、この取り扱い説明書 (以下、本書とする) をよくお読みくださるよう、お願い申し上げます。また、本書は本製品を使用する際、すぐに取り出せる場所に保管してくださるよう、お願い申し上げます。

適合車両以外の取り付けはできません。適合車両以外には使用しないで下さい。

本製品を他のお客様にお譲りになる際は、本書もあわせてお譲りくださるよう、お願い申し上げます。

本製品は日本国内での使用を目的に設計されていますので、海外では使用しないでください。

※ 本書でいう「使用」とは、「取り付け」や「取り扱い」を指します。

☐ 適合車種

トヨタ	プリウス
型式	ZVW30
年式	2009/05～

GARAX

 安全上の注意

本製品を安全にご使用いただくため、ご使用前に「安全上の注意」をよくお読みください。

 警告

☐ **弊社指定の方法以外で使用しない**

本製品を、本書記載以外の方法で使用した場合は事故を誘発したり、火災や感電、故障の原因になることがあります。その際に生じた損害や損失に対する補償には一切応じられません。

☐ **必ずバッテリーの端子を外してから配線作業を行う**

バッテリーが接続されたままの状態で配線作業を行うと、火災や感電、故障の原因になることがあります。その際に生じた損害や損失に対する補償には一切応じられません。

☐ **12V車以外には取り付けしない**

本製品は12V車専用です。12V車以外の車両に使用すると、火災や故障の原因になります。

☐ **分解や改造、修理を行わない**

お客様による分解や改造、修理はおやめください。事故を誘発したり、火災や破損の原因になる場合があります。

☐ **本商品の操作を十分に熟知してから使用する**

本製品を使用することで車両のシフト操作がレバーからスイッチに変わります。スイッチでのシフト操作を完全に熟知してから車両の走行をしてください。

⚠ 注 意

- ☐ 水気のある場所、湿気の多い場所で使用しない
作動不良を起こしたり、火災や故障の原因になることがあります。
- ☐ 車両の高温部や可動部にハーネスを取り回さない
作動不良を起こしたり、火災や故障の原因になることがあります。
- ☐ 異常が見られたら使用を中止する
煙が出ている、異臭がする等の異常が見られた場合はただちに使用を中止し、本書裏表紙記載のお問い合わせ先までご連絡ください。
- ☐ 取り外した純正部品は常備すること
本製品使用中に異常が生じた場合、すぐ純正状態に戻せるよう、外した純正部品は車内に保管してください。

お 願 い

- ☐ 取り付けは専門業者に依頼してください
本製品の取り付けは、お買い上げの販売店、又は専門業者に依頼してください。
- ☐ 本書は使用者に渡してください
取り付け終了後は、本書を使用者に渡し、本装置を他人に譲渡する場合は本書も一緒にお渡しください。
- ☐ 取り付けの際は両面テープで固定する
スイッチの押し間違いを防止するため、市販の両面テープで本製品を固定し、スイッチの位置が変わらないように取り付けしてください。



パーツリスト

パーツ名	パーツ写真	数量
①シフトスイッチ		1
②取り扱い説明書 (本書)		1



仕様および動作環境

- 電源：直流 (DC) 10 ～ 16 [V]

バッテリー電圧が 12 [V] の車両

- 周囲温度：-20 ～ 70 [°C]

結露なきこと

直射日光が当たらないこと

取り付け方法

⚠ 注意 □ イグニッションスイッチは必ずOFFにする
ショートによる火災や故障の原因になることがあります。

□ インテグレーションコントロールパネルの取り外し

- モーディングリムーバーを使用し、シフトレバー周りのパネルを浮かせます。
- 画像○位置6カ所のクリップを外し、パネルを取り外します。

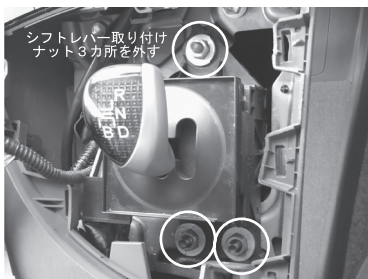
※クリップを破損させないように、真っ直ぐ上方向に持ち上げるようにして取り外します。

- 取り外したパネルを持ち上げ、裏側の2カ所のコネクタを外します（画像○位置）。



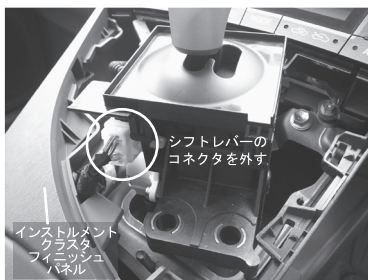
□ シフトレバーの取り外し

- シフトレバー本体を固定してある3カ所の取り付けナットを外します。



- シフトレバー本体を持ち上げ、画像○位置のコネクタを外してシフトレバー本体を取り外します。

※シフトレバー本体の取り外しが引っかかって、引き出しにくい場合は、インストルメントクラスターフィニッシュパネルを外すと簡単に取り出せます。



□ シフトスイッチの取り付け

- 本製品の配線をインテグレーションコントロールパネルの前面から裏側へ通す。



- 本製品をインテグレーションコントロールパネルの丸い穴にはめ込む。



- パネル裏面の3カ所のツメが確実にパネルの丸い部分に引っかかっていることを確認する。



- インテグレーションコントロールパネル裏面の外したコネクタ（2カ所）を接続する。
- 外したシフトレバーに接続してあったコネクタに、本装置のコネクタを接続します。



- インテグレーションコントロールパネルを元通りにクリップ位置にはめ込み取り付けは終了です。

※パネルをはめ込む際に配線を挟まないように注意して下さい。



注意

- コネクタは確実に接続する

コネクタが確実に接続されていない場合、ハイブリッドシステムエラー等の不具合が発生する場合があります。

ハイブリッドシステムエラーが発生した場合

- コネクタの接続を確認して下さい。

外した3カ所のコネクタ接続を再度確認して下さい。確実に接続されるとしばらくしてエラーが消灯します。

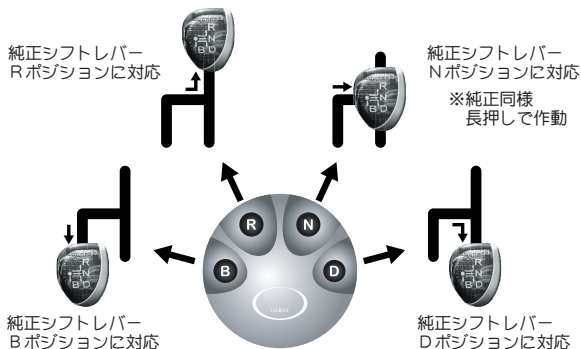
しばらくしてもエラーが消えない場合は販売店にご相談下さい。

■ 使用方法

□ 各スイッチの動作内容

シフトスイッチ	動作内容
D	車両前進
N（長押し）	動力が伝わらない状態に
R	車両後退
B	エンジンブレーキ強

□ 純正シフトレバー対応内容



※各シフトポジションの作動は純正と同じです。
純正で制限される動作は本製品でも作動しません。

□ シフトポジション変更時の制限事項

- シフトポジションの切りかえには制限があり、不正な操作をするとブザーが鳴り、下表に示すシフトポジションに自動で変更されます。

操作	選択される シフトポジション
ブレーキペダルを踏まずに、Pから他の ポジションに切りかえようとした	P
PまたはNからBに切りかえようとした	現在のまま
前進中 Rに切りかえようとした	N
後退中 Dに切りかえようとした	N
RからBに切りかえようとした	N

□ シフトスイッチを操作するときは

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないようにしてください。シフトポジションがPまたはN以外にあると、車両が急発進し、事故につながります。

シフトスイッチの操作後は、車両メーター内のシフトポジションインジケーターで、現在のシフトポジションを必ず確認してください。



警告

□ 運転するときは

走行中にシフトポジションをNにしないでください。走行中、シフトポジションをNにすると、エンジンブレーキがまったく効かないため、事故につながります。

また、前進中Rに、または後退中DにしてもシフトポジションがNになるので、同様、エンジンブレーキがまったく効かなくなります。

その他

1. 本製品の仕様、価格、外観、本書の内容等は予告なく変更される場合があります。
2. 本書の一部、または全部を無断で複写することを禁止します。
3. お客様ご本人または、第三者の方が、本製品の誤った使用やその使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
4. 本商品を使用した為、あるいは使用不可能である為に発生した損害(身体的損傷、賠償責任、事業の中断や情報の損害による利益の損失、金銭的損害、その他の損害等)に関して、いかなる場合でも、弊社には引責義務が無いものとします。
5. 下記、お問い合わせ先の名称、住所、電話番号は 2011 年 8 月 1 日現在のものです。
なお、名称、住所、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

改訂の記録

版数	発行年月日	取扱説明書部品番号	記載変更内容
初版	2011 年 8 月 1 日	4H0006-801-00	

お問い合わせ先

ケースベック・エレクトロニクス株式会社

〒444-1314 愛知県高浜市論地町3丁目9番地57

TEL : 0566-54-5788